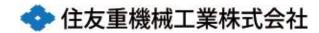
### 住友重機械工業株式会社



〒 141-6025 品川区大崎2-1-1 ThinkParkTower

TEL 050-2036-3164 FAX 03-6866-5108 http://www.shi.co.jp/

当:CSR推進室 ■扣

■事業内容:住友重機械グループは、産業機械、造船、プラントから最先端精密機械分野まで多岐にわたる総合重機械メーカーです。

■社会貢献活動について:

品川区の一区民として、しながわCSR推進協議会の活動に参加させていただき、他社の取り組みを学びながら、地域が望む、かつ当社が貢献 できる活動を模索しています。機械製造業を通じて、社会課題を解決する商品・サービスづくりを進めるとともに、次世代を担う子供たち に、環境に配慮したものづくりを見てもらえるように準備を進めています。

### 相鉄グランドフレッサ品川シーサイド(運営会社:株式会社相鉄ホテルマネジメント)

〒140-0002 品川区東品川4-12-8 品川シーサイドイーストタワー16階 TEL 03-6890-2005 FAX 03-6890-2007 https://fresa-inn.jp/

当:宿泊予約担当

■事業内容:当ホテルは、2019年2月ホテルサンルート品川シーサイドからリブランドOPENいたしました。FRESAとはFREsh(新鮮な)・Sence(感覚・セ ンス)・Amenity(快適さ)を組み合わせた造語です。心からの笑顔とおもてなしで、お客様にいつも新鮮・心地良い感覚・快適なサービスを提 供し、1番に選ばれるホテルでありたいという気持ちが込められております。引き続きのご愛顧のほど、宜しくお願い申し上げます。

#### 品川港南口天王洲アイル 東横INN

〒140-0002 品川区東品川2-2-35 TEL 03-5715-1045 FAX 03-5715-1056 http://www.toyoko-inn.com/hotel00244/index.html

■扣 当:支配人

■事業内容:朝食無料の全国312店舗ビジネスホテル。

### 株式会社ネットネイティブ

〒141-0021 品川区上大崎3-14-12 井雅ビル5F TEL 03-6459-3255 FAX 03-6859-0055 http://net-native.net/

当:経営管理部

■事業内容:日本最大級の女性向けエンタメ&ライフスタイルニュースサイト『モデルプレス』、ライフスタイルニュースサイト『女性旅プレス』、最新の "カワイイ"を発信する美容コスメニュースサイト『メイクイット』等のWEBメディアの運営を中心に事業展開しています。

### 株式会社ブロードリーフ

〒140-0002 品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F TEL 03-5781-3100 FAX 03-5781-3001 https://www.broadleaf.co.jp/

当:管理本部 総務部

■事業内容:業種特化型業務アプリケーションと長年培った関連データを活用した様々なITサービスを提供しています。

### 三井金属リサイクル株式会社

三井金属グループ 三井金属リサイクル株式会社

〒141-0032 品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー20F

TEL 03-5437-8123 FAX 03-5437-8124 https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/group/mkr

当:管理部

■事業内容:三井金属リサイクルは、三井金属グループ向けに国内外よりリサイクル原料を集荷し、環境負荷の低減を図るとともに資源の循環利用に大き

く貢献しています。

### 三菱鉛筆株式会社

〒140-8537 品川区東大井5-23-37 TEL 03-3458-6223 FAX 03-3458-3773 http://www.mpuni.co.jp/index.html

■担 当:総務部

### 三菱総研DCS株式会社



〒140-8506 品川区東品川4-12-2 品川シーサイドウエストタワー TEL 03-3458-8214 FAX 03-5463-9041 https://www.dcs.co.jp/

当:広報部

■事業内容:システム開発・コンサルティング・アウトソーシングサービスなど、ITソリューションをトータルでご提供します。特に人事給与サービス PROSRV®(プロサーブ)は、受託数2,000事業所を誇ります。また、中学・高校インターネット出願サービスmiraicompass®の利用校は約1,000校で国内トップクラスです。

# しながわCSR推進協議会 活動レポート2020

令和2年度のしながわ CSR 推進協議会の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催や一部実施方法の変更、中止をしています。そのため、実施できなかった活動については、参考に前年度実施の様子を掲載しておりますので、ご了承をお願いします。



### 総会を書面開催

令和2年7月27日(月)に令和2年度しながわ CSR 推進協議会の総会を書面で開催しました。

令和元年度の総会以降に新規入会した企業の紹介や令和元年度の協議会活動報告、令和2年度の協議会活動予定について報告しました。また、会員企業からは、株式会社クラダシが食品ロス削減の取り組みの紹介、株式会社トリドールホールディングスが医療従事者への食の提供と子ども食堂への支援をお知らせしました。

#### 〈議 題〉

- (1) しながわCSR推進協議会新規会員紹介
- (2) 令和元年度しながわCSR推進協議会の活動報告について
  - ①総会 ②課題別分科会 ③CSR講演会と活動事例発表会 ④幹事会
  - ⑤合同活動(清掃美化活動、しながわ花海道美化活動) ⑥パネル展
  - ⑦その他(情報発信等について)
- (3) 令和2年度しながわCSR推進協議会の活動予定について
  - ①幹事会 ②CSR講演会と活動事例発表会 ③課題別分科会 ④合同活動 ⑤パネル展
  - ⑥メールマガジン ⑦パンフレット
- (4) 企業からのお知らせ
  - ・株式会社クラダシ
  - ・株式会社トリドールホールディングス
- (5) 区からのお知らせ

#### (令和元年度の総会の様子)









### **) 幹事会をオンライン開催**

平成 29 年 10 月、協議会会員企業の様々な社会貢献活動の要望に応えるとともに、協議会活動 の活性化を図り企業の協議会運営への参加を推進することを目的として、幹事会が設置されまし た。会員企業のうち15社(令和3年3月1日現在)が幹事企業になっています。

令和2年度第1回の幹事会は中止とし、第2回の幹事会は令和3年2月16日(火)に新型コロ ナウイルス感染対策として、初めてオンラインで開催しました。

しながわ CSR 推進協議会の令和 2 年度の活動実績報告のほか、令和 3 年度に向けて、コロナ禍 における協議会の活動の方向性や、企業における CSR 活動の実施に関する課題や解決策などにつ いて、意見交換を行いました。

#### 〈議 題〉

- (1) 令和2年度協議会活動の実績報告について
- (2) 令和3年度活動予定について(案)
- (3) その他 (意見交換)

#### (令和元年度の幹事会の様子)













#### <幹事企業一覧>(50音順)

池田印刷株式会社、いすゞ自動車株式会社、SMK株式会社、

3 Mジャパングループ、ソニーグループ株式会社(2021年4月1日から商号変更)、

東京サラヤ株式会社、株式会社トリドールホールディングス、

日本ペイントホールディングス株式会社、株式会社フォーカスシステムズ、株式会社文化堂、 本多通信工業株式会社、株式会社モスフードサービス、ヤマト運輸株式会社 新東京主管支店、 株式会社ローソン、ロジスティックスオペレーションサービス株式会社



### 課題別分科会(地域)を開催

令和2年12月9日(水)、「地域」をテーマにした分科会を開催しました。18企業23名が参加し、 講演を聴講しました。

例年、テーマに沿って区側出席者からの事業紹介と企業と区職員の意見交換を実施しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、対面での意見交換を回避し、講演会形式により実施しました。分科会の趣旨から、事前に質問事項を受け付け、講師にその内容も含めて講演いただくとともに、質疑の時間での回答も行いました。



#### テーマ

地域に関わり CSV につなげる地域貢献デザイン

#### 講師

株式会社太陽住建 代表取締役 河原 勇輝 氏

地域に根差した社会貢献活動が自社の新たな事業アイデアを生み出し、CSV へと発展させた取り組みや活動のきっかけについて、以下のようなご講演をいただきました。この分科会を通して、しながわ CSR 推進協議会の会員企業の活動が広がりを見せ、より良いまちづくりに繋がることを期待しています。

「太陽の恵みから大地が潤うように、お客様の人生の大地である住まいを仕事を通して豊かにする事を使命とする。」を弊社の基本理念として位置付け、太陽住建を設立しました。

設立後は、これまで関わっていた工事会社の方から紹介された仕事をこなしていましたが、地元横浜の仕事が一つも無いことに気づき、会社の周りを掃除するようにしました。そうしたところ、毎日会って話をするようになった方が、町内会の副会長をやっていることを知って、誘われた餅つき大会に社員全員で行ったところ、「自分の家のエアコンが壊れたから工事してくれないか」というお話をいただいて、そこから「床が壊れたから来てください」など、だんだんと町内会に入っていく中で地元地域の仕事が少しずつ増えていきました。「本当に困ったときに最初に頭に浮かぶ存在になっていきたい」と思い始めた地域活動が、地域生業企業としてスタートできるきっかけとなったということです。その後、地域に会社の半分を開放したり、社員が全員消防団に入ったりと、地域に根差した活動を広げていく中で、横浜市の地域貢献企業認定の最上位認定を受けることができ、その後、本業が SDGs につながることが基準となるプレミアム企業にも認定されました。その中で、エネルギー事業とリフォーム事業の2つを軸として活動しています。

エネルギー事業は、太陽光発電の工事を障がい者の方々と一緒に作っていこうというプロジェクトです。具体的には、太陽光パネルの下地の架台の寸法を測ってもらう工程、太陽光パネルを加工して据え付けていただく工程など、工事工程を細分化してそれぞれ一緒に取り組んでいただける方を増やせるようなスキームをつくっています。こういった CSR、SDGs に力を入れたことが行政ともつながり、その後、横浜市の環境活動賞の企業の部で大賞をいただいて、このプロジェクトが一層前に進んでいます。現在は、コロナ禍で工事が一旦止まっており、そのことで障がい者の方々の仕事も止まってしまいました。そのため、リフォームの仕事に来てもらうことなど、新たな工事分野にも取り組んでもらえるように検討しています。

また、リフォーム事業は、弊社が空き家を借り上げ、地域の方々に使ってもらうプロジェクトです。これは、弊社が引っ越した時に、地域のことをもっと知りたいと思い、地元のガソリンスタンドの社長や、NPO などを回って地域のことについていろいろ教えていただくための会議をやっていました。そこに横浜市の方が参加し、「市が進めようとしているリビングラボ構想そのものなので、一緒にやっていきましょう。」という話しになり、一緒に進めています。弊社のような中小企業や大手企業、地域の町内会の方々、大学などの学校関係、また行政にも来てもらって、それぞれ連携して地域のことについて語り合っています。地元のことを地域の皆さんと話していく中で、「空き家」という話しが盛り上がりました。この空き家の問題というのは、増えていく空き家があるから弊社が関わろうというふうに思ったのではなく、このリビングラボを開催する中で地元の空き家の話がどんどん入ってきました。まちの課題をボトムアップで出してもらって、それを本業として関わるという手法で行っている事例です。弊社が借り上げた空き家の一部をコミュニティスペースとして町内会の会合で使用していただいたり、そのコミュニティスペースの活用をプラスだと考えている近隣企業に貸し出したりすることで、その後の事業展開につながっています。

また、復興支援のボランティアを通して、災害の多い日本で防災拠点が少ないことを感じたことをきっかけに、「増えて困る空き家を、少なくて困っている小さな防災拠点に変えていこう」と新たにプロジェクトを立ち上げました。空き家の一部屋に耐震シェルターを導入して、そこに自分たちの強みである太陽光発電を導入して、神奈川県内に小さな防災拠点を増やす取り組みを進めています。これは NPO 法人と連携した事業で、やってみたいと言ってくださる方々が多かったです。

さらに、空き家は地域の方々に使ってもらう拠点なので、そこに関連する工事の一部をみなさんにやっていただくためのワークショップを実施しました。その中で、キッチン改修のために壁を壊したところ、参加者から「壊すところからやってみたい」と話しがありました。それまでは、作ったものを使ってもらうことを今までやっていましたが、作り上げていくストーリーから関わりたい人が多いと気づいて、「solar crew」という事業を立ち上げました。会員制で一般会員や企業会員があるのですが、要するに、まっさらな空き家を今後活用する拠点としてつくる DIY から参加していただいて、作り上げた拠点をみんなで遊んだり学んだり働くプラットフォームにしていこうという取り組みです。工事をきっかけとして、地域の方など様々な交流人口を関係人口に変えていくということです。

この取り組みは、環境省が行っている「グッドライフアワード」の地域コミュニティ部門で、 環境大臣賞をいただくことができました。

弊社は、これらのエネルギー事業やリフォーム事業を SDGs というターゲットと指標を明確に定めて進んでいます。2019年には、国連ハイレベル政治フォーラムで、ニューヨークの国連本部でこれらの取り組みを発表させていただきました。目標 17 のパートナーシップで、弊社社員 8 名だけでこれだけの取り組みを実施している点で評価をいただきました。弊社の強みを生かして、今後も様々な拠点で地域活動を通して縁を広げて本業につなげていきたいと思っています。







### 合同活動(しながわ花海道美化活動に参加)を実施

令和2年度は、密集・密接を避けるため特定の活動日は設けず、各企業が任意の1日に作業を行 う方法に変更して行いました。1回目は6月20日(土)~7月10日(金)の間でコスモスの種まきを、 2回目は11月3日(火・祝)~11月15日(日)の間で菜の花の種まきを実施しました。

この種まきは、勝島運河沿いの土手、全長約 2Km あるしながわ花海道で毎年開催され、 1.5 メートル四方の区画およそ 1,200 区画に、地元町会や区内にある立正大学の学生、企 業など子どもから大人まで多くの人々が参加しています。

#### <参加会員企業>(50音順)

SMK株式会社、株式会社学研ホールディングス、キヤノンITソリューションズ株式会社、 株式会社キューブシステム、三和テッキ株式会社、シック・ジャパン株式会社、 セガサミーホールディングス株式会社、ソニーグループ株式会社(2021年4月1日から商号変更)、 大成温調株式会社、第一生命保険株式会社 品川支社、東京サラヤ株式会社、東京都競馬株式会社、 日産東京販売ホールディングス株式会社、日本ペイントホールディングス株式会社、 株式会社バルカー、株式会社日立ソリューションズ・クリエイト、美鈴工業株式会社、

三井金属リサイクル株式会社、三菱総研DCS株式会社、明治安田生命保険相互会社 品川支社

#### (コスモスの種まき)







#### (菜の花の種まき)









### 🧼 パネル展を開催

令和2年9月4日(金)~9月25日(金)しながわCSR推進協議会パネル展が開催されました。

このパネル展は、協議会の会員企業が、防災・環境・教育・福祉・地域活動など、様々 な分野において実施している社会貢献活動を区民や企業の皆様に広くお知らせするため に行われています。

区役所 3 階連絡通路とスクエア荏原 1 階通路を会場として、ご来場の皆様にご覧いた だきました。









### 企業の社会貢献活動の情報発信

#### ○ホームページ

企業の社会貢献活動を推進するために、協議会の活動や、区内企業の社会貢献活動の 情報を品川区ホームページおよびしながわすまいるネット(品川区民活動情報サイト) で発信しています。

- ① 品川区ホームページ(http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/) 「企業との協働」と検索してください。 ⇒「企業との協働(しながわ CSR 推進協議会など)」がご覧いただけます。
- ② しながわすまいるネットホームページ(http://shinagawasmile.net/) 「団体検索」から「しながわ CSR 推進協議会」と検索してください。 ⇒「しながわ CSR 推進協議会」のページがご覧いただけます。

### **○メールマガジン**

協議会のメールマガジンを平成25年度に創刊し、随時、協議会の活動、会員企業の社会 貢献活動、新規入会企業の紹介、区からのお知らせなどを会員企業等に配信しています。

●バックナンバーは、区ホームページに掲載しています。

## 企業(しながわCSR推進協議会会員)が 実施するプログラム等の紹介

企業が実施している講座やイベント等のお知らせを区ホームページに掲載しています。 ご興味のある方は、ぜひご活用ください。

・区ホームページ(http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/) 「企業 プログラム」と検索してください。



### 企業の社会貢献活動の情報発信

#### ○しながわ CSR 推進協議会 PR 動画の配信

本協議会および会員企業の社会貢献活動をより、区民の方々等に知っていただき、身近に感じていただくため、平成 29 年 3 月に PR 動画を制作しました。ケーブルテレビ品川等での放映や、YouTube 品川区公式チャンネル「しながわネット TV」でも配信していますので、ぜひご覧ください。

#### <収録内容>

- ・協議会会長(品川区長)インタビュー
- ・しながわ CSR 推進協議会の事業紹介
- ・各会員企業の社会貢献活動の紹介
- ・各企業のキャッチコピー

#### YouTube 品川区公式チャンネル「しながわネット TV」

(youtube.com/ShinagawaNetTV)」 YouTube にて「しながわ CSR 推進協議会」と検索してください

#### 《PR 動画の一部抜粋》 〈企業インタビュー〉



【東京サラヤ株式会社】



【寺田倉庫】

#### 〈各企業のキャッチコピー〉



科学教育と地球環境の 課題解決に貢献します



みんなで取り組もう CSR!



信頼と期待をいただける "よい会社"をめざして



もっと清潔に 安心感と値頃感



笑顔 smile 元気 energy 誠実 honesty



### ● 〈参考〉 CSR講演会と活動事例発表会 (☆和元年度)

令和2年2月5日(水)、きゅりあん小ホールにて、CSR講演会と活動事例発表会を開催しま した。

### ○第一部 CSR 講演会



#### テーマ

しながわ CSR 推進協議会の活動を SDGs で整理する

サンメッセ総合研究所(Sinc)所長・首席研究員 川村 雅彦 氏

しながわ CSR 推進協議会の会員企業が実施する活動を、SDGs という問題の整理の仕方で分 析し、以下のようなご講演をいただきました。

サステナビリティ(持続可能性)の世界は、何をやるかが一番ではなく、何が社会課題として あるかを考えることが第一です。これが、SDGs で言われるアウトサイドインという、外から自 分を考えるということです。大事なのは、社会は何が困っていて何を求めているか。言葉で言え ば社会課題ということを認識して、そこにどう対応しているかということ。日本の社会課題が 何かと思い浮かべると濃淡はあるし、地域と場所によっても変わってくるが、人口動態、防災関 係、健康問題、人権問題、介護士不足、貧困格差、待機児童問題、労働問題など、様々です。

では、しながわ CSR 推進協議会の会員企業は、どのような課題に対して取り組みをしている のかを分析してみました。

一番多かったのは古典的に存在しない社会課題である「職業教育」で、中でも職業観や働くこ とは何かということに取り組まれている企業が一番多かった。それ以降「清掃活動」、「科学技 術」、「福祉」、「環境保全」、「寄附」、「地域活性化」、「安全」、「防災」などと続いていきます。これら の取り組みが SDGs とどう関係しているのかを、取り組むだけではなく、ターゲットレベルで 考えて何に貢献しているのかを発信しないといけない。一番多かった「職業教育」では、例えば、 しながわ寺子屋やしながわ職場歩き、小中高キャリア教育などは SDGs でいうところの目標 4 の3に合致する。清掃活動では、目標11の6に合致するなど、個々の活動がSDGsのどのター ゲットに貢献しているのかを意識して、発信していく必要がある。





分析した結果、しながわ CSR 推進協議会の会員企業の活動は、①先進国都市型の企業市民活動、地域貢献活動が中心である。②次世代育成を視野にいれた職業教育の問題意識の高さがうかがえる。③科学技術教育、AI、IoT、ロボティクス、RPA などの実施。④ユニークな芸術振興などが特徴的ではないかと言えます。

今後のしながわ CSR 推進協議会の活動への期待としては、1つ目は、SDGs の 17 の目標で行われていない活動の領域を実施することである。丁寧に区の問題や企業の強みを考えていくと、各社の強みで解決できる品川区特有の社会改題が発見され、対応できるかもしれない。2つ目は、CSR の活動の取り組みの記録、要するに何をして何人集まったかというアウトプットはできているが、その後、どんな効果が得られたのかというアウトカムの計測を企業間で共有できれば、今後さらなる発展につながると思う。3つ目は、そのためにも、品川区が長期基本計画などで把握している課題のほかにも、別次元で見えてくる社会課題を見つけて、その中で優先順位をつけて活動のポイントを置くと良いと考えます。

社会課題に関しては自分のビジネスで培ったノウハウとか知恵とか知識などの力を世の中に役立てる。こういった取り組みを進めることで、より効果的な活動になり、その後、また違う分野で必要な取り組みが生まれてくるかもしれない。

### ○第二部 活動事例発表会

#### 株式会社クラダシ 代表取締役社長 関藤 竜也 氏

協議会会員による活動事例の報告では、株式会社クラダシから、日本初・最大級の社会貢献型フードシェアリングプラットフォームである KURADASHI について、紹介いただきました。

日本の食品口スが 643 万トンと言われていて、米の総収穫高の約 800 万トンに匹敵するぐらいの量が廃棄されている。世の中で輸入されたもの、生産されたものの 3 分の 1 ぐらいが誰の口にも入らずに廃棄している。KURADASHI のサービスは、こうした、今まで廃棄していた"もったいない"というものに新しい価値をつけてマーケットに投入し、取引をしている 600 社の企業の CSR レポートなどに KURADASHI を通してどれくらいの量が減ったのかなどを今後ますます可視化して、皆さんが協力しやすいような方向を手掛けていきたい。





### 〈参考〉合同活動 (清掃美化活動) (命和元年度) (実施の様子)

令和元年 12 月 20 日(金)、「しながわ CSR 推進協議会」の活動の一環として、会員企業による合同活動(清掃美化活動)を実施しました。



この合同活動(清掃美化活動)は、企業と区が合同で行うことにより、社会貢献活動に対する社員(職員)の意識啓発を図るとともに、協議会の活動を広くPRし、活動を通じて参加者相互の交流や地域への愛着を深めることを目的としています。







6回目の実施となる今回は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げるため、品川区独自ボランティアである「しな助」の活動として、参加者全員が「SHINASUKE」と書かれたタオルを首から提げて行いました。



















参加した 30 企業と品川区役所をあわせた 31 事業所 167 人が 11 チームに分かれて、区立しながわ中央公園を拠点とし、大井町駅方面、大崎駅方面、西大井駅方面などを清掃しました。企業の主体的な活動を促進するため、会員企業のうち幹事企業の一部が受付や本部への協力、各チームのチームリーダーを務めました。

参加者は「長年勤めていても区内には知らない場所がまだまだある。清掃活動を通じて知れて良かった」「普段何気なく歩いている道でも、清掃活動をすれば多くのごみが拾える。常にごみを捨てない意識、ごみを拾う意識を持つことが必要だと改めて感じた」「各チームに企業が混在していたので、たくさん話ができ交流を深める良い機会にもなった」と感想を話していました。







#### <参加会員企業>(50音順)

SMK株式会社、株式会社学研ホールディングス(他2社のグループ企業も参加)、

キヤノンITソリューションズ株式会社、光陽産業株式会社、コベルコ建機株式会社、三和テッキ株式会社、住友重機械工業株式会社、ソニーグループ株式会社(2021年4月1日から商号変更)、

大成温調株式会社、第一三共株式会社 品川研究開発センター、

第一ホテル東京シーフォート (株式会社阪急阪神ホテルズ)、大日本印刷株式会社、東京サラヤ株式会社、東京都競馬株式会社、東芝エレベータ株式会社 東京支社、東芝テック株式会社、

東洋製罐グループホールディングス株式会社(他4社のグループ企業も参加)、

日産東京販売ホールディングス株式会社、株式会社日本アクセス、

日本ペイントホールディングス株式会社(他5社のグループ企業も参加)、

日本たばこ産業株式会社
東京南部第二支店、富士電機株式会社、本多通信工業株式会社、

三井金属リサイクル株式会社、三菱総研DCS株式会社、株式会社明電舎、株式会社モスフードサービス、株式会社リブセンス、株式会社ローソン、ロジスティックスオペレーションサービス株式会社

# 品川区基本構想

区では、社会経済環境の変化とこれからも守るべき伝統や文化、助け合いの心などの普遍の価値を踏まえて平成20年4月に、区民と区との共同指針として新しい基本構想を策定しました。この基本構想では、「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」を将来像として品川区が今後進むべき方向を三つの基本理念として示し、将来像を具体化した五つの都市像を掲げています。長期基本計画は、基本構想を具体化するために行う施策と、実現の方向を明らかにした今後10年間の計画です。前計画の終了に伴い、新計画を令和2年4月にスタートさせ、様々な施策を展開しています。





## 0

### SDGs (Sustainable Development Goals) とは

SDGs (持続可能な開発目標) は、平成 27 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中核を成す、令和 12 年を年限とする開発目標であり、 先進国を含む国際社会共通の目標です。

SDGs は持続可能な世界を実現するための 17 の目標(ゴール)から構成され、「誰一人として取り残されない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する総合的な取り組みが示されています。

### SUSTAINABLE GOALS







































発 行:品川区総務部総務課

〒140-8715 品川区広町 2 - 1 -36 TEL. 03-5742-6625 FAX. 03-3774-6356

編集協力: しながわCSR推進協議会 E-mail: s-somu.shinagawa-csr@city.shinagawa.tokyo.jp